

①-1 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-212	高等学校	外国語	論理・表現 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	論 I 104-901	Revised EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced		

1. 編修の基本方針

編修の基本方針として、日常的な話題、社会的な話題について、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの3つの領域の能力を段階的に伸ばすこと、また、論理の構成や展開を工夫して、主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことが可能となるよう留意した。

1. 題材は、学習者に親しみやすく、かつ学習者の生きる力を育成する内容豊かなものを採用した。
2. 言語材料に関しては、中学校との連携を考慮して**基本事項の定着**を重視するとともに、その基礎を活用して**論理的な英語表現の能力を伸ばす**ことが可能となるよう選定した。
3. 「書く」「話す」の**生産的2技能**を中心に育成する目的において、「読む」「聞く」の**受容的2技能**とも有機的に関連させる演習を随所に設け、学習者が**幅広い言語活動**に取り組むことができ、かつ積極的に授業に参加できるように配慮した。

上述した内容・構成によって、学習者が**多様な知識と教養**を身に付け、積極的に**社会の形成に参画**し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ**国際社会の平和と発展**に寄与する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し Classroom English	教室で用いる基礎的な英語表現を身に付けさせる。(第1号) 相互の意見や関係性を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(第3号) 平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)	前見返しⅠ・Ⅱ 写真全般
後見返し English Directions in This Textbook	本課の問題の指示文を取り上げ、説明を付した。(第1号)	後見返しⅢ・Ⅳ
はじめに	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号) 日本語と英語の表現形式の差異を通じて、双方の持つ言語的な文化への理解を深める。(第5号)	5～7ページ
Lesson 1～15	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。	全般

	(第1号) 自己表現活動を通じて，創造性・自主性を養う。(第2号) 平等意識や公平の観念を養うため，男女・人種などにおいて，偏りが生じないように配慮した。(第3号) 言語の働き（機能）を念頭におき，様々な場面で相手の存在を意識して，より効果的なコミュニケーションを図る力を培う。(第1号) 伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う。(第5号) 自律性を養い，職業などを意識させる題材を採用した。(第2号) 他者と協力することの重要性や社会への参画を意識させる題材を採用した。(第3号) 環境に優しい町の取り組みや資源の節約を主題にした教材により，環境保全に寄与する姿勢を養う。(第4号) 様々な分野での業績や尊敬する人物について考え，表現することにより，個人の価値を尊重し，創造性を養い，将来の職業について考える機会をもてるよう配慮した。(第2号) 様々な国の祝祭を主題にした教材により，他国の文化を尊重する態度を養う。(第5号) 日本と他国を比較することで，その文化などに対する理解や互いを尊重する態度を養う。(第5号)	Task 2 (11, 13 ページほか) Goal (11, 13 ページほか) What do you think? (16 ページほか) 写真・イラスト全般 全般 Lesson 6 (51～58 ページ) Lesson 7 (61～68 ページ) Lesson 7 (61～68 ページ) Lesson 9 (77～84 ページ) Lesson 12 (103～110 ページ) Lesson 13 (113～120 ページ) Lesson 14 (121～128 ページ)
How to express yourself ①～⑥	英語の会話の進め方，発表のしかた，パラグラフ構成・論理展開などに関する基本的な知識を習得する。(第1号)	33～34 ページ 59～60 ページ 85～86 ページ 111～112 ページ 137～140 ページ
Useful Expressions	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	141～150 ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

I. 教科書の特徴

A. 「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」の能力を段階的に伸ばす構成

1. トピック別の章立てで、目的や場面に応じた様々な表現を身に付けて、「話す」「書く」という表現活動につなげることができる構成になっています。
2. 「話す」活動を中心とした“Let's speak about...”を見開きの2ページで、「書く」活動を中心とした“Let's write about...”を2ページで扱い、それぞれに設定している目標(Goal)に向かって段階的に力をつけることができる構成になっています。

B. 話す・書く活動に役立つ重要表現を掲載

Expressions Plus では、重要表現を例文とともに取り上げています。Practice では確認問題を行うことができますが、問題文は各課のトピックに関連しているため、表現するための語彙を増やすことにもつながります。

C. 課末では自分の意見を述べる活動へと展開

課末の What do you think?では、論題に対して自分の考えを述べる活動を行うことができます。ディスカッションやディベートにつながる活動です。

D. 各課の活動に役立つ特集ページを用意

ペアワークなどでの会話のやり取り、スピーチなどの発表、英作文などそれぞれの活動の際に役立つ解説ページを用意しています。論理的なパラグラフの構成や推敲・校正のしかた、ディベート・ディスカッションの進め方など、比較的高度な言語活動についてもわかりやすく解説しています。

II. 各課の構成

A. 正課：表現の習得・練習と自己表現活動がバランスよくできる内容としました。

1. 導入ページ

- a) 各課で学んで達成する目標を3領域に分けて提示しています。
- b) トピックに関連した写真描写などのリスニング問題と簡単な自己表現をベースとした活動を行います。

2. Let's speak about... (「話す」ことを中心にした活動)

- a) 左ページ：写真やグラフ、表など情報を含む素材と、各課のトピックに関連する会話文を掲載しています。会話文に出てきた重要表現は、Key Expressions で取り上げています。
- b) 右ページ：左ページの会話文についての情報を整理する活動と、整理した情報を参考にしながら、機能表現を使って自分のことを表現する・ペアで話し合う活動、さらに話し合った内容について発表する・質問に答える活動を行うことができます。

3. Let's write about... (「書く」ことを中心にした活動)

- a) 左ページ：様々な形式の文章(メール、ブログ、投稿記事、レポートなど)をモデル文として用意しました。モデル文に関する簡単な問題を設けています。モデル文に出てきた重要表現は Key Expressions で取り上げています。
- b) 右ページ：モデル文を参考にして、学習した表現を用いて、自分の考えや情報について表現します。50～60語程度のまとまった文章を書く活動を行います。

4. Expressions Plus (Key Expressions に関連した重要表現のまとめ)

- a) 左ページ：各課の Key Expressions で取り上げた重要表現に加えて、関連する事項を例文とともにまとめました。
- b) 右ページ：重要表現を確認するための問題を載せています。問題文の内容は各課のトピックに関連したものとなっており、使用されている語彙や表現を様々な活動の際に活用することができます。

5. 課末ページ (What do you think?)

各課のトピックに関する論題について自分の意見を表現する活動です。ディベートやディスカッションにつながる内容になっています。表現活動に使えるフレーズ例もあわせて掲載しています。

B. 正課以外

1. 「はじめに」のページでは、英語の語順や品詞について簡単な解説をまとめました。
2. How to express yourself ①～⑥では、やり取りや発表、英作文のコツのほか、パラグラフライティングの基本やディベート、ディスカッションの進め方についてまとめました。
3. 各課のテーマに関連する語句を Useful Expressions としてまとめ、表現活動に適宜使えるようなものとしました。
4. 前見返しでは、Classroom English として、授業での使用が想定される基本的な英語表現をまとめました。後見返しでは、各課の主な設問文とその意味を掲載しました。

◆教材配当表 <B5判・152ページ・4色>

課	タイトル	学習事項
	はじめに	英語の語順／品詞
1	Introduce yourself to your class 【紹介】	説明する・紹介する【文型】
2	How do you spend your weekends? 【週末の過ごし方】	時を表す（現在・過去・未来）【時制1】
3	Where did you go on vacation? 【旅行】	時を表す（完了形）【時制2】
	How to express yourself ① ペアでやりとりをしてみよう	会話の進み方、特徴など
4	May I ask you a question? 【案内・助言】	能力・許可・義務などを表す【助動詞1】
5	Would you like to come with me? 【課外時間・交流】	依頼・勧誘や推量などを表す【助動詞2】
6	Something really Japanese 【日本文化】	「～される」を表す【受動態】
	How to express yourself ② クラスの前で発表してみよう	スピーチの構成、発表のしかたなど
7	How are you preparing for your future? 【ボランティア活動・将来】	「～すること」などを表す【不定詞1】
8	Let's enjoy school life! 【学校生活】	to do/doingを使って表す【不定詞2】
9	Are you eco-friendly? 【環境問題】	「～すること」を表す【動名詞】
	How to express yourself ③ 英文を書いてみよう	つなぎ表現、主題と主題文など
10	What sports do you like? 【スポーツ・健康】	doing/doneを使って説明する【分詞1】
11	Do you use digital devices when you're studying? 【勉強・デジタル機器】	doing/doneを使って説明する【分詞2】
12	Recent achievements or advances that have changed the world 【科学技術・偉業】	人や物について説明する【関係代名詞】
	How to express yourself ④ パラグラフライティングの基本を学ぼう	パラグラフの基本構成
13	It's time to celebrate! 【文化・歴史】	時や場所などについて説明する【関係副詞】
14	Various countries around the world 【世界の地理・統計】	比較を表す【比較】
15	What is important to you in life? 【人生・思い出】	仮定を表す【仮定法】
	How to express yourself ⑤ 書いた文を推敲・校正してみよう	文章の推敲・校正・修正のしかた
	How to express yourself ⑥ ディベート・ディスカッションをしてみよう	ディベート・ディスカッションの進め方

*その他、授業での発話集 Classroom English〔前見返し〕、テーマ別表現のまとめ Useful Expressions を収録。

*二次元コードにより、各課の学習ポイント解説動画、補充問題・解説、What do you think?のテーマ解説スライドを参考情報として提供。

①-2 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-212	高等学校	外国語	論理・表現 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	論 I 104-901	Revised EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- A. 題材は、学習者にとって身近に感じることができる日常的な話題や社会的な話題などバラエティに富んだ内容を取り揃えた。
- B. 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するため、問題演習の指示文は英語を用いた。また、表現活動を行いやすいように、モデルとなる会話文やパラグラフを用意し、支援を比較的多く与えた。
- C. 「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」の2技能3領域をバランスよく扱い、さまざまな活動を通じて、論理的に話すことや、論理の展開や構成を工夫して文章を書くことを確実に行えるように心がけた。
- D. 多様な観点や立場からの考えや意見を引き出すことができるような場面や状況を設定することで、学習者が主体的・自律的に授業に参加することができるよう配慮した。

II. 教科書の構成 ※教科書の概要は「編修趣意書（教育基本法との対照表）」をご参照ください。

A. 正課

1. 導入

- ①CAN-DO：各課で達成する目標を3領域(「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」)に分けて提示しています。
- ②トビラ写真：題材への興味を喚起する写真を載せています。
- ③Before you start...：写真に関するリスニング問題と簡単な自己表現をベースとした活動で導入できます。

2. Let's speak about...

- ① 二次元コード：会話文と例文のリスニング、音読・発音練習を行います。
- ② 写真・資料等：各課のテーマに関連する写真や図表、地図、広告、ポスターなど様々な形式の素材を提示しています。
- ③ Model Dialog：各課のテーマに関連する会話文を掲載しています。この会話文をモデルとして、やり取りや発表の活動につなげます。
- ④ Listening Quiz：会話文の内容に関する簡単なリスニングクイズです。
- ⑤ Key Expressions：会話文に出てくる重要表現を取り上げて簡単に解説しています。
- ⑥ Task 1：Model Dialog についての情報を整理しながら重要表現も定着させます。
- ⑦ Task 2：Task 1 で整理した情報を参考にしながら、重要表現を使って自分のことを表現したり、ペアで話し合ったりする活動を行います。
- ⑧ Goal：話し合った内容について発表する活動です。また、発表した内容について質問をしたり、それに答えたりします。発表する内容の例を示して、表現活動の支援となるようにしています。また、評価するポイントとして Check list を掲載しています。

⑨ **TRY** : 各課のテーマに関して自分のことを表現する活動を行います。

3. Let's write about...

① **Listening Quiz** : 会話文を聴いて簡単なリスニングクイズを行います。

② **Model Passage** (モデル文) : メール、ブログ、投稿記事、レポートなど様々な形式の文章を扱います。

③ **Task 1** : モデル文に関する簡単な確認問題です。

④ **Key Expressions** : モデル文中に含まれる重要表現を取り上げ、簡単な解説を付けています。

⑤ **Task 2** : 自分のことに関する英問英答の問題です。まとまった文章を書くための準備の段階の活動です。適宜 **Hints** を付けています。

⑥ **Goal** : **Task 2** の内容を使ってまとまった文章を書く活動です。

⑦ **TRY** : 書いた内容について話し合ったり発表したりする活動につなげます。

4. Expressions Plus

① **文法の解説・例文** : Let's speak about... / Let's write about... の **Key Expressions** で取り上げた表現とそれに関連した事項を例文とともに取り上げ、解説を付けています。

② **Practice** : 左ページの解説や例文の内容を確認する問題です。各課のトピックに関連する問題文になっているため、語彙や表現を身に付けることもできます。

5. 課末

① **What do you think?** : ディベートやディスカッションにつながる活動です。日常的なものから社会的なものまで様々なテーマを扱います。二次元コードからテーマ解説スライドを見ることができます。

② **語句・表現例** : テーマに関して自分の意見を言うための支援となる語句や表現をまとめています。

③ **CAN-DO Self-review** : 導入のページで提示した目標の到達度を確認できるチェックリストを設けています。

B. その他

1. **前見返し** : 授業中に使える英語表現の一覧です。二次元コードから、ペアワークやプレゼンテーションで使われる表現の実演動画を見ることができます。

2. **はじめに** : 英語の語順と品詞について簡単に解説しています。

3. **How to express yourself ①～⑥** : 各課で「話す（やり取り）」、「話す（発表）」、「書く」活動をするために役立つ解説をまとめています。

4. **Useful Expressions** : 各課のテーマに関連する語句を一覧にしています。表現活動をする際に役立てることができます。

5. **後見返し** : 各課の主な問題指示文の内容をまとめています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
前見返し Classroom English	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項	前見返し I・II	-
はじめに	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項	5～7ページ	2

Lesson 1～15	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し，英語で表現したり，伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ア 話すこと〔やり取り〕 イ 話すこと〔発表〕 ウ 書くこと ② 言語の働きに関する事項 内容の取扱い コミュニケーションを図る資質・能力を育成するためのこれまでの総合的な指導を踏まえ，話したり書いたりする言語活動を中心に，情報や考えなどを表現したり伝え合ったりする能力の向上を図るように指導するものとする。	内容 (1) Key Expressions (10, 12ページほか) Expressions Plus (14, 15ページほか) (2) Model Dialog / Model Passage (10, 12ページほか) Task 1 (11, 12ページほか) Task 2 (11, 13ページほか) Goal (11, 13ページほか) TRY (11, 13ページほか) (3) ① Task 2 (11, 13ページほか) Goal (11, 13ページほか) TRY (11, 13ページほか) ② Key Expressions (10, 12ページほか) Expressions Plus (14, 15ページほか) 内容の取扱い Task 2 (11, 13ページほか) Goal(11, 13ページほか) TRY (11, 13ページほか)	60
How to express yourself ①～⑥	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し，英語で表現したり，伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ア 話すこと〔やり取り〕 イ 話すこと〔発表〕 ウ 書くこと	(1) 全般 (2) 全般 (3) ① ア 33～34ページ, 139～140ページ イ 59～60ページ ウ 85～86ページ, 111～112ページ, 137～138ページ	6
Useful Expressions	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (3) ② 言語の働きに関する事項	141～150ページ	—
後見返し English Directions in This Textbook	内容 (3) ① 言語活動に関する事項 ア 話すこと〔やり取り〕 イ 話すこと〔発表〕	後見返しⅢ，Ⅳ	—
計			68